

国語専修

以下の2つの課題について計画的に取り組み、大学入学後の学修に備えてください。

1. (学部共通課題) ATAMA+

指定された全項目(現代文、古文、漢文)に取り組み、入学前に完了させる

2. (必須) 高等学校国語科「言語文化」の教科書研究

(一つ選択) 推薦図書の要約文、あるいは漢字検定準2級以上または文章検定準2級以上の受検

○学習の進め方

(全員必須) 高等学校の国語教科書「言語文化」について、全編にわたって教科書掲載の本文を丁寧な文字で書き写し、その上で教科書を書き写す作業を通して気づいたことをノートにまとめる。

〈注意点〉

- ・ノートはB5の10mm方眼罫30枚のものを自前で用意し、10mm方眼1マスに1文字を丁寧に書き写すこと(国語の教師にとって、文字は特に求められる資質能力です)
- ・書き写す対象は本文のみとし、目次、本文の注、付録については対象外とする
- ・教科書を書き写す作業を通して気づいたことについては、ノートの最後にまとめる

(選択1) 推薦図書の要約文：推薦図書リストから2冊を選び、以下の注意点を踏まえながら要約文(それぞれ原稿用紙3枚程度)を作成する。

〈注意点〉

- ・印象に残った部分を引用し、感想を述べる(1か所につき、引用と感想を合わせて100字程度)
- ・上記を1冊につき10か所程度、全編にわたって満遍なくまとめる。

(選択2) 漢検、または文章検の受検：漢字検定準2級以上、または文章検定準2級以上を

受検すること。これらを受検する場合は、推薦図書の要約を免除する。入学後に、日本漢字能力検定協会から送られてくる成績表の写しを提出すること。なお、既に準2級以上を取得しており、上位級を受検しない場合は、推薦図書2冊の要約を行うこと。

※ 教科書を書き写したノートと要約文は、4月入学式当日の専修別ガイダンス時に提出する（入学説明会で進度を確認するので計画的に進めること）。

※ 入学後に必要な辞書の準備（『電子辞書』でも可。現在使用しているものは継続して持参使用する。以下①②③④の辞典は参考）

- ①『広辞苑』（岩波書店）などの国語辞典
- ②漢和辞典（『全訳 漢辞海』三省堂）
- ③古語辞典（『ベネッセ全訳 古語辞典』ベネッセ）
- ④「国語便覧」（高校で使用したもので良い）

国語専修 推薦図書リスト

I. 評論・論説

- 1『武士道』(新渡戸稲造著 PHP 文庫)
- 2『現代語訳 風姿花伝』(世阿弥著 水野聡訳 PHP エディターズ・グループ)
- 3『日本の思想』(丸山眞男著 岩波新書)
- 4『思考の整理学』(外山滋比古著 筑摩文庫)
- 5『「甘え」の構造』(土居健郎著 弘文堂)
- 6『レジリエンス入門: 折れない心のつくり方』(内田和俊著 ちくまプリマー新書)
- 7『論より詭弁 反論理的思考のすすめ』(香西秀信著 光文社新書)
- 8『本の読み方 スローリーディングの実践』(平野啓一郎著 PHP 新書)
- 9『わかったつもり 読解力がつかない本当の原因』(西林克彦著 光文社新書)
- 10『日本語の歴史』(山口仲美著 岩波新書)
- 11『〈性〉と日本語 ことばがつくる男と女』(中村桃子著 NHK ブックス)
- 12『いつもの言葉を哲学する』(古田徹也著 朝日新書)
- 13『源氏物語を読む』(高木和子著 岩波新書)
- 14『百人一首——編纂がひらく小宇宙』(田渊句美子著 岩波新書)
- 15『徒然草をよみなおす』(小川剛生著 ちくまプリマー新書)

II. 文学(小説)他

- 1『伊勢物語』(ビギナーズ・クラシックス 日本の古典 角川ソフィア文庫)
- 2『坊ちゃん』(夏目漱石著 新潮文庫)
- 3『伊豆の踊り子』(川端康成著 新潮文庫)
- 4『人間失格』(太宰治著 新潮文庫)
- 5『項羽と劉邦』(司馬遼太郎著 新潮文庫)
- 6『罪と罰』(ドストエフスキー著 高橋義孝訳 新潮文庫)
- 7『変身』(カフカ著 小林正訳 新潮文庫)
- 8『マクベス』(シェイクスピア著 金子・河合訳 角川文庫)